

葉山町

子ども議会



私たちの葉山、

もっとこうなればいいのに

「議長のお許しをいただきましたので、通告に従い、一般質問を行います。」緊張した面持ちで生徒たちが登壇します。

8月22日、葉山中学校・南郷中学校の生徒会15人（中川美和議員欠席のため、当日は14人）によって開かれた葉山町子ども議会。中学生が町に思っていることを素直に伝えようと、この案が出たのは半年以上も前のことでした。町長と生徒たちは何度も意見を交換し、議会や行政について学びオリエンテーション、プレ議会、質問書の作成などを経て、やっと本番です。日ごろの勉強や部活動などで忙しい生徒たちですが、時間をかけて準備しただけあり、当日はまるで本物の議会のようにでした。

◆そもそも議会って何するの？

生徒たちは「葉山町議会は何をするところなのか、議会ではどんな質問がされるのか」、ここから勉強を始めました。町長が直接「地方自治と議会」について話したこともあり「決まり事」や予算（お金の使い道）を審議し、決定します。また、執行機関である町長・教育委員会などが正しく行政を運営しているかを監視する役割もあるのです。

◆実際に出た質問

本物の議会と見間違っような鋭い質問の数々。金崎ひさ議長は「私たち議員も参考にしたくなるほど、今後のまちづくりを活かせる素晴らしい質問ばかり」と驚いていました。生徒たちは事前に町の総合計画な

どを読んで考えたこと、また日ごろの生活で感じた疑問を質問としてぶつけます。

▼相澤佑亮議員の質問



B級グルメ・ゆるキャラで全国に町をPRしてみてもいいですか

町長「ゆるキャラは視覚的にPRするには効果的です

が、葉山町のイメージを具体化する

のが難しいので慎重に進めたい。他市では、住民と行政のイメージに相違があったという例もあります。B級グルメは、ミシュランを獲得したこともあり、A級、高級なイメージを打ち出したいと考えています。」

▼久保夏帆議員の質問



障害者が就職先を選びやすくなる環境づくりの取組みはありますか

保健福祉部長「平成24年3月に、葉山町障害者福祉計画（障害のある人もない人も、地域で安心して自分らしく暮らせるまちづくりを目指したもの）を策定し、雇用報奨金支給事業もその一つの施策です。働きたい意欲・能力を可能な限り活かせるよ

◆再質問に手を挙げる根岸幹議員

「少子高齢化が進み、僕の家の人に子どもは一人だけ。高齢者も多く、介護を受けている人もいます。そんな人たちを町では把握していますか。また、民生委員を増やすべきではないでしょうか。」



家庭と下水道をつなげる工
事には補助金はきちんと出
ているのでしょうか

安心して暮らせるまちづく
りのため、私たち中学生に
できることはありますか？

日本の渚・百選に選ばれた
葉山の海をもっとアピール
するべきです！



塚本
大凱 議員



柴崎
莉珠 議員

並松
竜太郎 議員



町長「今は毎週土曜にごみへらし隊
がお手伝いしてくれるほか、町内会
や子ども会が中心に資源回収をして
います。人口が増えたことで、ごみ
は増加していますが、『分ければ資
源、混ぜればごみ』という言葉のと



ごみ収集・資源回
収は、クリーンセ
ンターだけで間に
合っていますか

▼**厳根さくら議員の質問**
の増設を急ぎたいと考えます。」



町外保育園に通う
子どもも多く、保
育園が足りていな
いと思います

▼**竹下純平議員の質問**
職員募集などもしています。」

う、町内3か所の相談支援事業所で
は、その人にあつた就労先の紹介な
どをしています。役場庁舎内の売店
や一人暮らし高齢者への配食サービ
スを町から委託、町役場でも非常勤
職員の募集などもしています。」



山梨 崇仁 町長から 子ども議会の皆さんへ

中学生議員の皆さん、町政への強く熱い想
いをありがとうございました。国連採択の子
どもの権利条約第12条では、児童の「意見表
明権」が規定され、日本も批准から20年を迎
えます。「葉山が夢や希望の持てる町であるた
めに」おそらく私たちより長く生きる子ども
の皆さんが、この町に生きてよかったと将来
に思えること、そのために皆さんの声を聞け
るということはとても大切なことだと思っ
ています。

これからも自分の意見を色々な場面でしっ
かりと表明できる人財になっていってください。



▲葉山中学校への町長
訪問（今年1月）

▼南郷中学校への町長
訪問（今年2月）



- 町長「4月1日現在で、0〜5歳の子どもが1679人。うち認可保育園に通う子どもが249人。町内定員185人のところ215人が通うので、残り34人が町外保育園に通っています。さらに待機児童も30人いるため、平成26年度中には、保育園の増設を急ぎたいと考えます。」
- 町外保育園に通う子どもも多く、保育園が足りていないと思います
- 葉山を知ることで良かった
- 町長や職員の人が町のことを考えてくれているんだと実感できたので、今後の役に立つと思う
- 「もう少し頑張りたかった」
- 予習したつもりでも答弁の中では難しい単語がたくさんあった
- 葉山に住んでいるのに、知らない

◆終了後のアンケート 「ここが良かった」

● 答弁がわかりやすかった

● 葉山を知ることができて良かった

● 町長や職員の人が町のことを考えてくれているんだと実感できたので、今後の役に立つと思う

● 本物の議場で本格的な体験ができたので、今後の役に立つと思う

● 「もう少し頑張りたかった」

● 予習したつもりでも答弁の中では難しい単語がたくさんあった

● 葉山に住んでいるのに、知らない

ことばかりでシヨックだった
● 準備がとにかく大変で、質問書を作るのにも時間がかかった

【その他の感想】

葉山中学校の生徒会長を務める藤本真慶議員からは「町長の答弁を聞いて、僕も質問に対して臨機応変に対応できる人になりたいと思った」、また南郷中学校生徒会長の津田卓磨議員からは「生徒会だけじゃなく、いろんな小中学生にも体験してほしい」との感想をいただきました。
行政や議会の仕組みを知るだけでなく、人前で話す緊張感や事前準備の苦労を知った生徒たち。今後この経験を活かせることでしょう。